

令和7年度

活動プログラム集



鹿児島県立奄美少年自然の家

目 次

I	奄美少年自然の家の活動を通して育てたい力	…1
II	経費一覧	…2
III	活動プログラム	
1	野外活動	
(1)	テント設営	…3
(2)	野外炊さん	…4
(3)	キャンプファイヤー	…5
○	キャンプファイヤー進行表・言葉例	…6
(4)	自然散策	…7
(5)	クイズウォークラリー	…10
(6)	赤崎ハイキング	…12
(7)	オリエンテーリング	…13
(8)	自転車モトクロス	…15
(9)	環境ボランティア	…16
(10)	ナイトウォーク&ゲーム	…17
2	海洋・海浜活動	
(1)	いかだ活動	…18
(2)	カヌー	…19
(3)	SUP	…20
(4)	カッター	…21
(5)	海遊び(水に親しむ活動)	…22
(6)	サンドクラフト	…23
(7)	熱帯魚ウオッチング	…24
3	スポーツ	
(1)	グラウンドゴルフ	…27
(2)	バターゴルフ	…28
(3)	ターゲットバードゴルフ	…29
(4)	ペタンク	…30
(5)	ソフトバレーボール	…31
(6)	インディアカ	…32
(7)	スポレック	…33
(8)	ピロポロ	…34
(9)	キンボールスポーツ	…35
(10)	ボッチャ	…36
(11)	卓球・バドミントン	…37
(12)	モルック	…38
(13)	タグで遊ぼう	…39
(14)	タグラグビー	…40
4	天体に関する活動	
(1)	天体観察	…41
(2)	太陽観察	…42
(3)	星の話	…43
5	創作活動	
(1)	プラホビー	…44
(2)	サンドアート	…45
(3)	サンゴクラフト	…46
(4)	Sea ストラップ	…47
(5)	木工ペンダント	…48
(6)	焼き板	…49
(7)	フォトフレーム	…50
(8)	壁掛け	…51
(9)	七宝焼	…52
(10)	藍染	…53
(11)	紬クラフト	…54
(12)	なりキーホルダー	…55
(13)	ジェルアート	…56
(14)	折り染めうちわ	…57
(15)	折り染めバッグ	…58
(16)	石コロアート	…59
6	室内活動	
(1)	レクリエーション	…60
(2)	灯のつどい	…61
○	灯のつどい進行表・言葉例	…62
(3)	ドミノ倒し	…65
(4)	室内フィールドビンゴ	…66
(5)	クリエイティブゲーム	…68

I 奄美少年自然の家の活動を通して育てたい力

活動領域	育てたい力 プログラム	問題解決能力	課題発見能力	科学的な思考	思考力・想像力	判断力	表現力	コミュニケーション能力	知識・技能	体力	主体性	協調性	感謝する心	生命尊重	郷土を愛する心	ボランティア精神	活動プログラム集ページ
1 野外活動																	
	(1) テント設営・撤収	◎			○	○		◎	○		○	◎	○				3
	(2) 野外炊さん(カレー、豚汁等)	◎	○	○	○	○		◎	◎		○	◎	○	○			4
	(3) キャンプファイヤー				○	○	○	◎			○	◎	◎	○	○		5
	(4) 自然散策				○				○	○	○		○	◎	◎		9
	(5) クイズウォークラリー	◎			◎	○		○	○	◎	◎	◎	○		◎		10
	(6) 赤崎ハイキング				○					○	○			◎	◎		12
	(7) オリエンテーリング	◎			◎	○		○		◎	◎	◎	○				13
	(8) 自転車モトクロス		○	○	○	○			○	◎	○						15
	(9) 環境ボランティア	○	○			○				○	○	○	○	○	◎	◎	16
	(10) ナイトウォーク&ゲーム	○		○	◎	○	◎		◎					◎	◎		17
2 海洋・海浜活動																	
	(1) いかだ活動		○	○	○	○		◎	○	◎	○	◎	○		◎		18
	(2) カヌー		○	○	○	○			○	◎	◎				◎		19
	(3) SUP		○	○	○	○			○	◎	◎				◎		20
	(4) カッター				○	○			○	◎	○			○	◎		21
	(5) 海遊び(水に親しむ活動)		○	○	○	○		◎	○	◎	○	◎	○		◎		22
	(6) サンドクラフト		○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○			◎		23
	(7) 熱帯魚ウォッチング		○	○	○	○		○	○	◎	○	○			◎		24
3 スポーツ																	
	(1) グラウンドゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					27
	(2) パターゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					28
	(3) ターゲットバードゴルフ	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					29
	(4) ペタンク	○	○		○	○		○	○	○	◎	○					30
	(5) ソフトバレーボール	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				31
	(6) インディアカ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				32
	(7) スポレック	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				33
	(8) ピロポロ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				34
	(9) キンボールスポーツ	○	○		○	○		◎	○	◎	○	◎	○				35
	(10) ボッチャ	○	○		◎	◎	◎	○	◎		◎	○					36
	(11) 卓球・バドミントン	○	○		○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○				37
	(12) モルック	○	○		◎	◎		○	◎	○	○	○					38
	(13) タグで遊ぼう	○	○		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	○				39
	(14) タグラグビー	○	○		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	○				40
4 天体に関する活動																	
	(1) 天体観察			◎	○	○	○	○	○								41
	(2) 太陽観察			◎	○	○	○	○	○								42
	(3) 星の話			◎	○	○	○	○	○								43
5 創作活動																	
	(1) ブラホビー	○	○	○	◎		◎		○		○						44
	(2) サンドアート	○	○		◎		◎		○		○				○		45
	(3) サンゴクラフト	○	○		◎		◎		○		○				○		46
	(4) Seaストラップ	○	○		◎		◎		○		○						47
	(5) 木エペンダント	○	○		◎		◎		○		○						48
	(6) 焼き板	○	○		◎		◎		○		○						49
	(7) フォトフレーム	○	○		◎		◎		○		○				○		50
	(8) 壁掛け	○	○		◎		◎		○		○				○		51
	(9) 七宝焼	○	○	○	◎		◎		○		○						52
	(10) 藍染	○	○	○	◎		◎		○		○		○				53
	(11) 紬クラフト	○	○		◎		◎		○		○			○	◎		54
	(12) なりきりホルダー	○	○		◎		◎		○		○				◎		55
	(13) ジェルアート	○	○	○	◎		◎		○		○				○		56
	(14) 折り染めうちわ	○	○		◎		◎		○		○						57
	(15) 折り染めバッグ	○	○		◎		◎		○		○						58
	(16) 石ころアート	○	○		◎		◎		○		○						59
6 室内活動																	
	(1) レクリエーション				○	○	○	◎		○	○	◎	○				60
	(2) 灯のつどい				○	○	○	◎			○	◎	◎	○			61
	(3) ドミノ倒し	○			◎	○		○	○		○	◎	◎				65
	(4) 室内フィールドビンゴ	◎			◎	○		○	○	◎	◎	◎	○				66
	(5) クリエイティブゲーム	◎			◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○				68

経費一覧

	プログラム	経 費	備 考(主な材料)	プログラム集ページ
1 野外活動				
(1)	テント設営・撤収	無料	—	3
(2)	野外炊さん(カレー, 豚汁等)	食費, 薪代一人10円	昼食: 小学生690円, 中学生以上700円 夕食: 小学生790円, 中学生以上800円	4
(3)	キャンプファイヤー	一人10円	薪代	5
(4)	自然散策	無料	—	9
(5)	クイズウォークラリー	無料	—	10
(6)	赤崎ハイキング	無料	—	12
(7)	オリエンテーリング	無料	—	13
(8)	自転車モトクロス	無料	—	15
(9)	環境ボランティア	無料	—	16
(10)	ナイトウォーク&ゲーム	一人10円	用紙代, 油性ペン	17
2 海洋・海浜活動				
(1)	いかだ活動	無料	—	18
(2)	カヌー	無料	—	19
(3)	SUP	無料	—	20
(4)	カッター	無料	—	21
(5)	海遊び(水に親しむ活動)	無料	—	22
(6)	サンドクラフト	無料	—	23
(7)	熱帯魚ウォッチング	無料	—	24
3 スポーツ				
(1)	グラウンドゴルフ	無料	—	27
(2)	パターゴルフ	無料	—	28
(3)	ターゲットバードゴルフ	無料	—	29
(4)	ペタンク	無料	—	30
(5)	ソフトバレーボール	無料	—	31
(6)	インディアカ	無料	—	32
(7)	スポレック	無料	—	33
(8)	ピロピロ	無料	—	34
(9)	キンボールスポーツ	無料	—	35
(10)	ポッチャ	無料	—	36
(11)	卓球・バドミントン	無料	—	37
(12)	モルック	無料	—	38
(13)	タグで遊ぼう	無料	—	39
(14)	タグラグビー	無料	—	40
4 天体に関する活動				
(1)	天体観察	無料	—	41
(2)	太陽観察	無料	—	42
(3)	星の話	無料	—	43
5 創作活動				
(1)	プラホビー	一作品100円	プラ板, キーホルダー	44
(2)	サンドアート	一作品150円	色紙, 色砂	45
(3)	サンゴクラフト	一作品 50円	ホットボンド	46
(4)	Seaストラップ	一作品 50円	水引, ビーズ	47
(5)	木エベンダント	一作品 50円	サンドペーパー, 紐	48
(6)	焼き板	一作品200円	杉板, ヒートン, アルミマンテル	49
(7)	フォトフレーム	一作品300円	杉材, プラ板, 色画用紙	50
(8)	壁掛け	一作品100円	杉板, L字フック, 麻紐	51
(9)	七宝焼	一作品350円	キーホルダー, 釉薬	52
(10)	藍染	一作品400円	ハンカチ, 藍液	53
(11)	紬クラフト	一作品200円	大島紬端布, 紐, 錦糸, 鈴	54
(12)	なりキーホルダー	一作品100円	キーホルダー, なり	55
(13)	ジェルアート	一作品200円	ジェルワックス, 瓶, 色砂	56
(14)	折り染めうちわ	一作品150円	和紙, うちわ骨, 染料	57
(15)	折り染めバッグ	一作品100円	和紙, 厚紙, 染料	58
(16)	石ころアート	一作品 50円	アクリル絵の具	59
6 室内活動				
(1)	レクリエーション	無料	—	60
(2)	灯のつどい	一人10円	ローソク代	61
(3)	ドミノ倒し	無料	—	65
(4)	室内フィールドビンゴ	無料	—	66
(5)	クリエイティブゲーム	無料	—	68

II 活動プログラム

I 野外活動

活 動 名		(I) テント設営・撤収
活 動 の ね ら い		テント設営や撤収の基本的な技能を身に付けさせるとともに、助け合いの心や主体的に問題を解決しようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・17張×4人程度
場 所		キャンプサイト、多目的広場 など
準備品	研修団体	帽子、軍手、タオル、水筒、救急セット、虫除けスプレー など
	自然の家	テントセット、シュラフ、マット、シーツ、ハブ柵
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具等の準備 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 設営 ア テント倉庫からテント等運ぶ。 イ 協力して設営する。 ※ テントを離れるときは、ファスナーを全て閉める。 ウ 寝具を入れる。 エ 後片付けをする。 (2) 撤収 ア 寝具を畳み、テント倉庫に返す。 イ 協力して撤収する。 ※ 用具が全て揃っているか数を確認する。 ウ テント等をテント倉庫へ運ぶ。 エ 忘れ物・落とし物がないか確認する。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にテント班を編成しておく。 【テント一張り当たりの宿泊可能人数…小・中学生4人程度】 ○ テント収納袋は、建てたテントの中に置く。 ○ 「テント設営」を研修に設定する場合は、翌日の研修に「テント撤収」を1コマ設定する。



活 動 名		(2) 野外炊さん（カレー，豚汁等）
活動のねらい		自分の役割を果たしながら，安全に気を付けて野外炊さんに取り組む活動を通して，助け合いの心や主体的に問題を解決しようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		240 分・食費(食堂料金に準ずる。)，薪代(一人 10 円)
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		炊さん場，創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手，救急セット，虫除けスプレー
	自然の家	羽釜(飯ごう)，鍋セット，食器，洗い物セット，薪，マッチ
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料などの準備 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 食材，炊さん用具，食器，薪を準備する。 (2) 羽釜または飯ごうを使ってご飯を炊く。 (3) おかず(カレー，豚汁等)を作る。 (4) 最初に作り終えた班が，食堂に飲み物，デザート等を取りに行く。 (5) 食事をする。 (6) 後片付けをする。(必ず自然の家職員の食器点検を受ける) 4 集合，あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 事前に炊さん班を編成しておく。(12班以内，1班5～10人程度) ○ 事前に係（食器係，調理係，かまど係）を決め，活動内容を確認しておく。 ○ 後片付け後に，引率者が炊事場，排水口に残飯が残っていないか確認をする。 ○ 片付けの際は，引率者，自然の家職員の順に用具点検を受ける。 ○ 炊さん道具は，自然の家職員の点検後に炊さん倉庫へ収納する。

活 動 名		(3) キャンプファイヤー
活動のねらい		炎を囲んで交流する活動を通して、友情や交流を深めるとともに、これまでの自分を見つめる機会とし、他の人々に感謝しようとする心情を養う。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		60 分・薪代(一人 10 円)
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		キャンプファイヤー場
準備品	研修団体	交歓のつといででのスタンプ(出し物), 必要なCDや用具, 救急セット, 虫除けスプレー
	自然の家	ファイヤーブロック, トーチ(6本), 灯油, バケツ(消火用砂入れ) 進行マニュアル, 親火・子火カード, 放送機器, ランタン, ライター
活 動 内 容		【30分前】リハーサル：自然の家職員，進行(1)，営火長(1)，親火(1)，子火(4) 1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 安全面 (2) 準備 3 活動 (1) 迎え火の式を行う。 (2) 交歓のつといでを行う。(30分程度) (3) 送り火の式を行う。 (4) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に係(親火，子火，営火長，進行)を決め，台詞等の練習をしておく。また，スタンプ(出し物)を計画し，打合せや練習等をしておく。 ※ P6～8を参考にしてください。 ○ 係(親火，子火，営火長，進行)は開始 30 分前に集合し，準備及びリハーサルを行う。



キャンプファイヤー 進行表

【1部 迎え火の式】

1 みなさん、こんばんは。自然の家での研修も（○日目の・最後の）夜を迎えました。

これまでの活動を振り返り、研修で学んだことをこれからの生活に生かせるように、そして、私たちの友情がさらに深まるように、ただいまよりキャンプファイヤーを行います。

2 それでは、第1部「迎え火の式」です。 〈BGM1〉

3 営火を迎え入れます。〈親火、子火4、3、営火長、子火2、1の順で入場する。〉 〈入場後 BGM1 蕾 fade-out〉

4 親火は、営火に捧げる言葉をお願いします。

親火：営火に捧げる言葉

5 親火は、営火長と子火へ火を分け与えてください。

親火・営火長・子火：分火の言葉・誓いの言葉

6 営火長は、点火を宣言してください。

営火長が「点火」と言う。

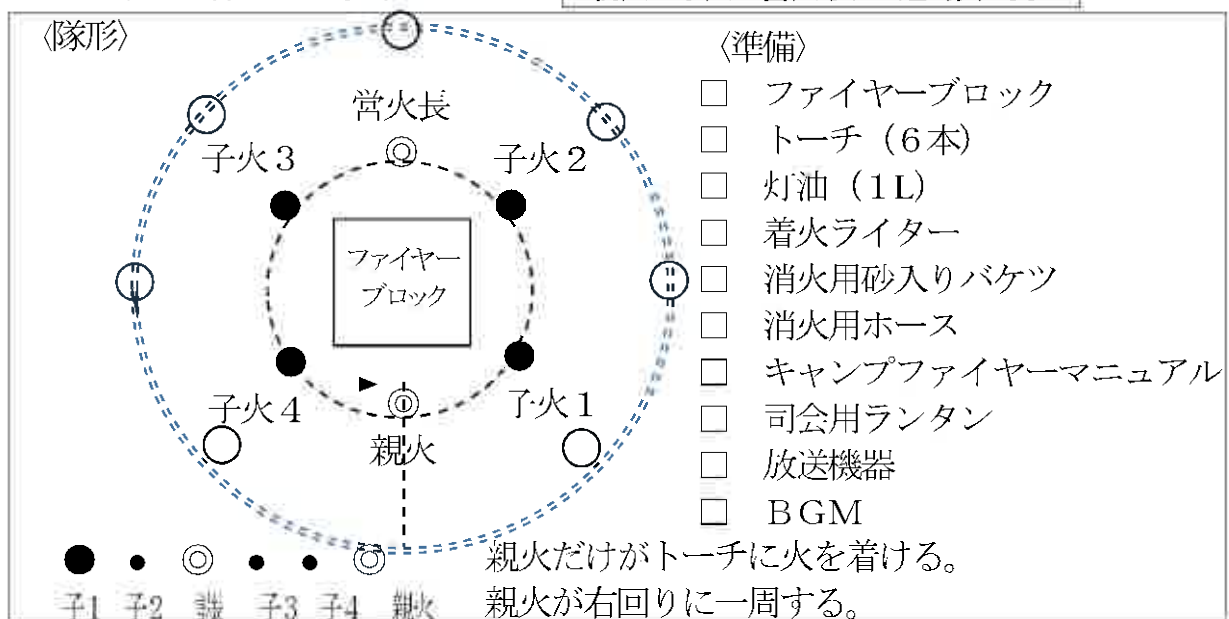
親火・営火長・子火：点火

7 営火長は、迎え火の言葉をお願いします。

営火長：迎え火の言葉

8 みなさん、中央の炎をしばらく見つめましょう（少し間を置く。）※ 語りかけるようにゆっくり話す。

営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。これで第1部「迎え火の式」を終わります。営火の皆さんは退場しましょう。 親火・子火・営火長は退場する。



【2部 交歓の集い（レクリエーション）】 30分程度

【3部 送り火の式】（※ 全員起立する。）

- 1 楽しかったレクリエーションも、あっというまに終わりました。

それでは、第3部「送り火の式」を始めます。 〈BGM：2〉

- 2 親火は採火し、その火を営火長、子火の皆さんに分けてください。

親火：採火し、子火と営火長に分火する。〉

- 3 営火長は、送り火の言葉をお願いします。

営火長：送り火の言葉

- 4 みなさん、炎をじっと見つめてください。〈BGM3〉

これから皆さんが歩む人生は、楽しいことばかりではありません。つらいことや悲しいことも経験し、時にはくじけそうになることもあるでしょう。

でも、皆さんには、喜びや悲しみを分かち合える先生や友達がいます。お互いを信じ、助け合いながら、この暗闇を照らす炎のように、力を合わせて困難に立ち向かっていこうではありませんか。友達や先生がいれば、どんなに苦しいことでも、きっと乗り越えていけるはずです。

最後に、家族の顔を思い浮かべてください。皆さんが、こんなにも大きく成長し、何不自由なく毎日を過ごしていけるのは、言葉では言い尽くせないほどの家族の協力や苦労があるおかげです。

普段は照れくさくて言えないけど、「ありがとう」と感謝の言葉を、心の中でつぶやいてみてください。

それでは、今晚、ここに集った皆さんが、限らない未来に向かって力強く羽ばたいていくことを、そして、幸多き人生を歩んでいかれることを祈りながら、第3部「送り火の式」を閉じたいと思います。

- 5 営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。営火長、親火、子火の皆さんは退場してください。

- 6 皆さん、ありがとうございました。以上で、今夜の「キャンプファイヤー」を終わります。

キャンプファイヤーの言葉

【営火長：迎え火の言葉】

今夜、私たちは、ここ奄美少年自然の家で、聖なる火を囲みます。日々の暮らしを離れ、共に生活する中で、友情を深め、感謝の気持ちを育むことができました。この火が、かけがえのない思い出となり、いつまでも私たちの胸に灯り続けることを祈りながら、迎え火の言葉とします。

【営火長：送り火の言葉】

これまで燃え続けていた 炎も、今はもう、こんなに小さくなってしまいました。

しかし、ともに笑い、ともに楽しんだ時間は、奄美少年自然の家で過ごした楽しい思い出となって、いつまでも皆さんの心に残ることと思います。キャンプファイヤーの 炎は消えても、今日育んだ友情の 炎は、いつまでも、私たちの心の中で消えることはないでしょう。この素晴らしい思い出をみなさんの心に刻むために、しばらくの間、じっくりと炎を見つめてください。

最後に、私たちを励まし、見守ってくれた奄美の自然に感謝して、送り火の言葉とします。

【親火：営火に捧げる言葉】

今日一日、私たちの活動を見守り、明るく照らしてくれた太陽も、はるか遠く水平線に沈み、自然の家も静かな夜を迎えようとしています。

遠い昔、暗闇を照らす 炎は、人々にとって心のより所であり、疲れを癒やし、体を温めてくれる希望の光でした。今夜、私たちも、キャンプファイヤーの火を囲みながら、楽しく、そしておごそかな時間を過ごします。ここに集まった皆さんが、これから、中央のファイヤーブロックに灯される 炎のように、学校や地域で輝き続けてくれることを祈りながら、営火に捧げる言葉とします。

ぶんか 分火の言葉 ※ キャンプファイヤー、灯のつどい共通

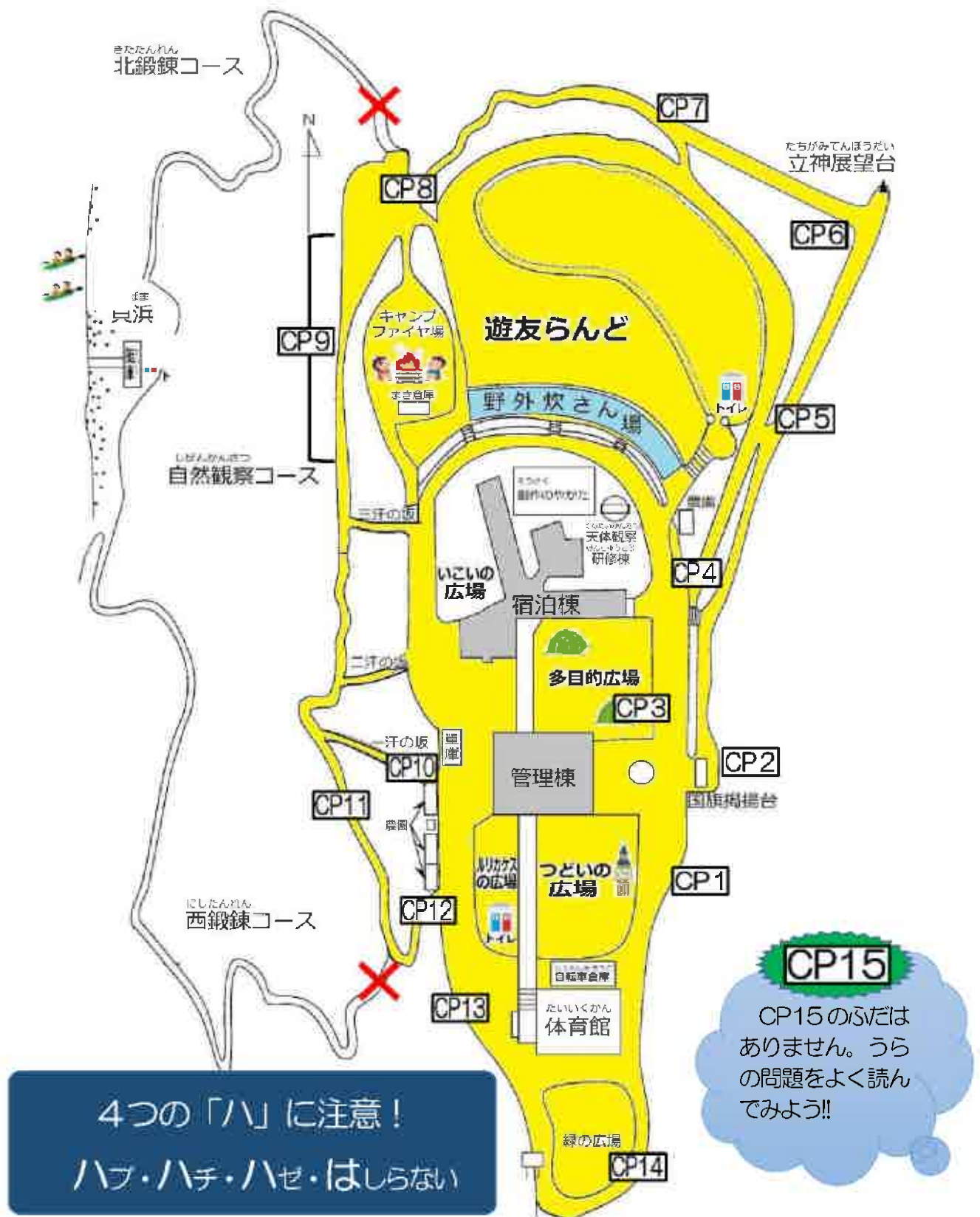
親火	子火
（子火1へ） こうじょう 向上のために	【子火1】 私たちは、自分の可能性を信じ、心と体をきたえ、努力を惜しまない人になります。
（子火2へ） ゆうじょう 友情のために	【子火2】 私たちは、お互いを信じ、共に励まし合い、友情を深める人になります。
（子火3へ） しゃかい 社会のために	【子火3】 私たちは、進んで学び、学校や地域、社会のために役立つ人になります。
（子火4へ） きぼう 希望のために	【子火4】 私たちは、希望と目標をもち、未来に向かって、夢の橋をかける人になります。

活 動 名		(4) 自然散策
活動のねらい		植物や昆虫，野鳥等を観察しながら，自然のよさに気付き，それらを大切にしようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		自然観察道 など
準備品	研修団体	帽子，軍手，水筒，タオル，救急セット，殺虫剤，虫除けスプレー
	自然の家	吸引器セット，説明用パネル，殺虫剤，虫除けスプレー，トランシーバー
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 活動の流れ(散策するコース等) (2) 安全面 3 活動 (1) 散策の視点，注意事項を聞く。 (2) 森林浴をしながら，植物や昆虫，野鳥等を観察する。 (3) 散策が終わったら広場に集合し，発見したことや気付いたこと等について発表し合う。 (4) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 自然の家職員と団体引率者が打合せを行い，天候に応じた集合場所やコースを決める。



活 動 名		(5) クイズウォークラリー
活動のねらい		クイズウォークラリーを通して、仲間と協力する楽しさや自然の素晴らしさを感じ、主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・120 人以内
場 所		自然の家周辺、自然観察道
準備品	研修団体	帽子、軍手、タオル、水筒、救急セット、殺虫剤、虫除けスプレー
	自然の家	ゼッケン、地図、紙ばさみ、鉛筆、殺虫剤、虫除けスプレー、吸引器セット、説明用パネル、トランシーバー
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料の配布 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 出発前の準備をする。 (2) 班ごとに出発する。 (3) 到着後、採点をしてもらう。 (4) 成績を聞き、活動を振り返る。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ  
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班5～8人程度) ○ 当日の天候を考慮しながら、自然の家職員と団体引率者が打合せをして実施の判断をする。 ○ 評価(振り返り)の仕方について、事前に確認する。

クイズウォークラリー マップ (案)



ちょうせん
チームで力を合わせて挑 戦 しよう！

活 動 名		(6) 赤崎ハイキング
活動のねらい		自然の家から赤崎公園まで歩き，自然散策を楽しむことで，自然を大切にしようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		140 分・無料
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		自然の家～赤崎公園
準備品	研修団体	帽子，水筒，タオル，救急セット，虫除けスプレー
	自然の家	吸引器セット，救急セット，虫除けスプレー，トランシーバー
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 活動の流れ (2) 安全面 3 活動 (1) 交通ルールを遵守しながら赤崎公園までハイキングをする。 ※ シャリンバイやソテツ等植物の様子を観察しながら歩く。 ※ 戦没者慰霊塔の話を聞きながら歩く。 (2) 駐車場奥の階段から遊具施設のある広場へ下り，集合場所と時間を確認して，団体引率者の指示に従って行動する。 (3) 集合時刻になったら，人員を確認して，交通安全に気を付けながら帰路につく。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 当日の天候等を考慮しながら自然の家職員と団体引率者が打合せをして，実施の判断をする。



活 動 名		(7) オリエンテーリング
活動のねらい		地図を使いながら、仲間と協力してコースの中のポイントを探す活動を通して、自然に親しむとともに、助け合いの心や主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・120 人以内
場 所		自然の家周辺、自然観察道、西鍛錬道 など
準 備 品	研修団体	帽子、軍手、水筒、タオル、救急セット、殺虫剤、虫除けスプレー
	自然の家	ゼッケン、地図、紙ばさみ、鉛筆、吸引器セット、殺虫剤、虫除けスプレー、説明用パネル、トランシーバー
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具の配布 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 出発前の準備をする。 (出発時刻と目標帰着時刻の確認) (2) 班ごとに出発する。 (3) 到着後、採点をしてもらう。 (4) 成績を聞き、活動を振り返る。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留 意 事 項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班5人～8人程度) ○ 当日の天候を考慮しながら、自然の家職員と団体引率者が打合せをして、実施の判断をする。 ○ 振り返りの仕方について、事前に確認しておく。

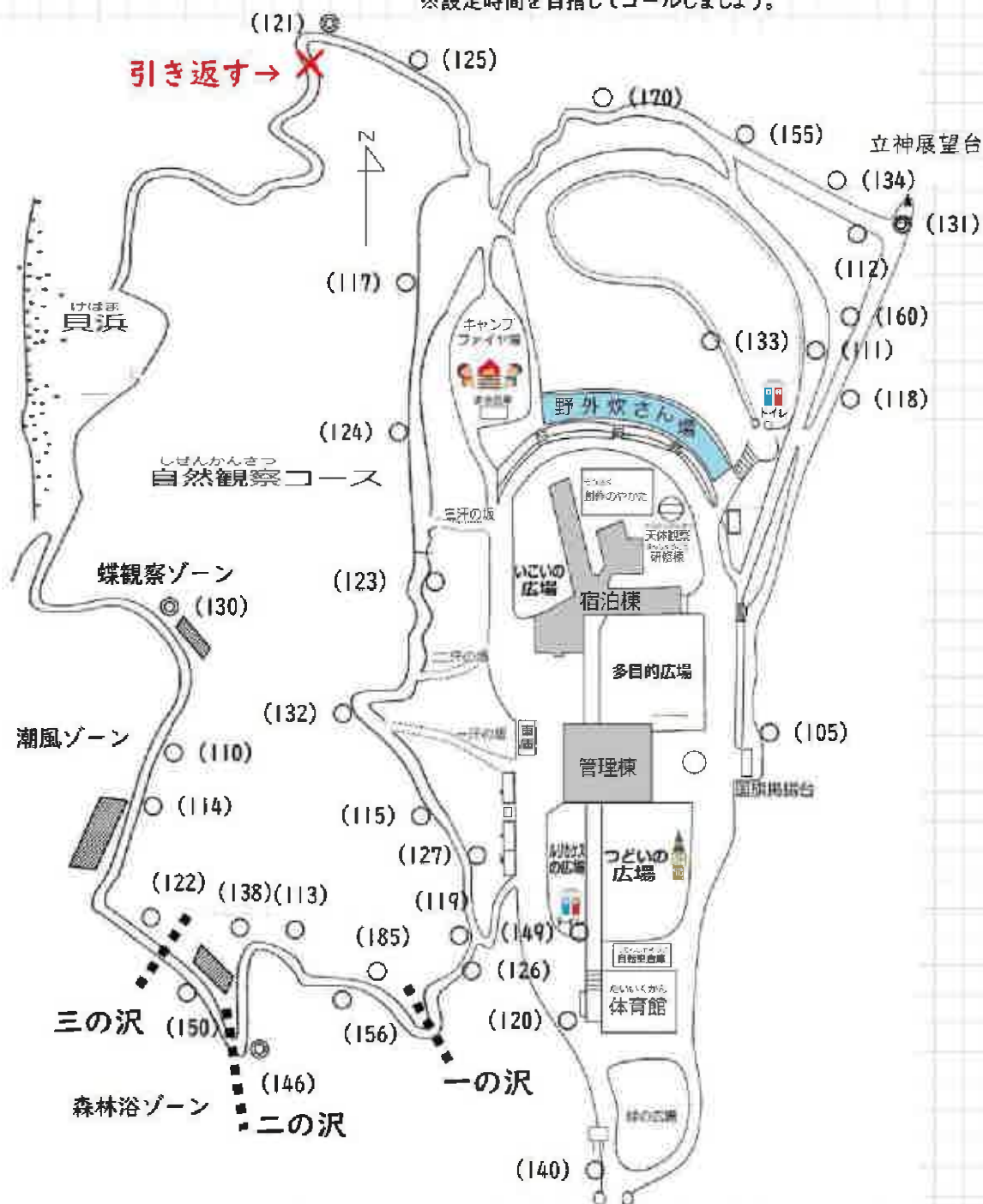


オリエンテーリング マップ

【 】 コース

グループ名	スタート時刻	時 分	所用時間	設定時間
人 数	ゴール 時刻	時 分		

※設定時間を目指してゴールしましょう。



ポスト 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

活 動 名		(8) 自転車モトクロス
活動のねらい		マウンテンバイクの基本的な操作法を習得し、モトクロスコース(所内)を走行する活動を通して、安全に留意しながら主体的に活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分 ・ 無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・20 人以内
場 所		いこいの広場、所内周辺（周回コース）
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒、救急セット、虫除けスプレー
	自然の家	マウンテンバイク、ヘルメット、肘・膝あて、空気入れ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 自転車の準備・点検等 (2) ヘルメット、肘・膝あての装着 (3) 操作法及び安全面 3 活動 (1) 自分の体に合ったマウンテンバイクを選び、サドル、空気圧(自然の家職員と確認)・ブレーキ等を点検、確認し、適宜各自で調整する。 (2) ヘルメットをかぶり、肘・膝あてを着ける。 (3) 自然の家周回コースを走行してマウンテンバイクに慣れる。 (4) 設置された障害物コースに挑戦する。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 利用人数が多い場合は、交代しながら活動する。 ○ 設置した障害物コースには、補助者を必ず配置する。



活 動 名		(9) 環境ボランティア
活動のねらい		環境整備を中心としたボランティア活動を通して、自然を大切にしようとする心情を育んだり、持続可能な社会づくりについて考えたりする機会とする。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		海洋・海浜研修場，自然観察道，各広場 など
準備品	研修団体	帽子，軍手，タオル，水筒，救急セット，虫除けスプレー，ゴミ袋等
	自然の家	掃除用具，ゴミ袋等(内容による)
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 手順や用具の使い方等 (2) 活動の範囲等 3 道具等の配布 4 活動 (1) 活動を行う。 【例】ビーチクリーニング，自然観察道や各広場の落ち葉拾い，農園の除草 など (2) 活動を通して気付いたことをまとめ，発表し合う。 ア 落ち葉や雑草等について イ 拾い集めたゴミ等について (3) ゴミの分別，後片付けをする。 5 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前及び事後指導を自然の家職員と団体引率者で十分に打ち合わせる。 ○ けがをしないように次の点について特に注意する。 ・ 用具（ほうき・てみ・熊手・火ばさみ など）を正しく扱う。 ・ 素手・素足で活動をしない。



活 動 名		(10) ナイトウォーク&ゲーム
活動のねらい		夜の動植物の声や音を聞きながら、奄美の自然の素晴らしさに気付き、大切にしようとする態度を育てる。 ゲームを通して、絵を描くことの面白さや光があることの大切さを感じる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		60分・10円
対象・人数		幼児以上・120人以内
場 所		自然の家周辺（雨天時：研修室・体育館）
準備品	研修団体	虫よけスプレー、懐中電灯（必要に応じて）
	自然の家	クレヨン、バインダー、画用紙、ランタン
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 目的 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 道具等の配布 4 活動 (1) コースを歩きながら観察をする。 ※ 季節・天候によって、夕日や星を観察する。 ※ 荒天時は、室内で話を聞く。 (2) みどりの広場前で「ゲーム」の説明を聞き、絵を描く。 【ゲームの例】 ・歩いている時に聞こえた音をもとに、みどりの広場で絵を描く。 ・話をもとに場面を想像して、みどりの広場で絵を描く。 (3) 玄関前で描いた作品を鑑賞する。 5 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。（一班40人程度） ○ 順路に従って一方通行で歩く。 ○ 夜の活動なので、安全指導の徹底を図る。 ○ 体育館や一般駐車場付近は、車の往来があり危険なため、安全面に十分留意する。 ○ 樹木や植え込みなどの近くを通る際は、虫刺されやハブに気を付ける。



2 海洋・海浜活動

活 動 名		(1) いかだ活動
活動のねらい		いかだ活動を通して、互いに協力したり、自己の役割を果たしたり、一人一人の違いを認めようとしたりするなどの意欲を育てるとともに、海洋に対する興味・関心を高める。
活動の主な時期		4月～10月 (波の高さ1.5m以下、風速6m以下、波打ち際に立って波高膝下)
時 間 ・ 費 用		140～270分(2～3コマ分)※移動方法で活動時間が変わります。・無料
対 象 ・ 人 数		小学生5年生以上・一艇につき6～8人程度
場 所		海洋・海浜研修場(朝仁海岸)
準備品	研修団体	水着、濡れてもよい服、着替え、靴(マリンシューズ)、タオル、帽子、水筒
	自然の家	いかだ骨組、フロート、救命胴衣、ロープ、救助浮き輪、水上バイク、トランシーバー
活動内容	自然の家	1 集合、出発前の確認(多目的広場等) 2 移動時の安全面についての説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 (徒歩で片道約〈小学生40～60分〉〈中学生30分～40分〉車で約15分)
	艇庫(朝仁海岸)	4 集合、救命胴衣の着用、点呼 5 道具等の準備 6 説明 (1) いかだの作り方・操作の仕方 (2) 安全面 7 活動 (1) いかだを組み立てる。 (2) いかだ活動をする。(団体引率者が各いかだの担当をする。) (3) 気付いたこと、学んだことをもとに振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 8 集合、点呼、あいさつ 9 団体引率者の指示に従って移動(徒歩またはバス等)
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき、自然の家職員と打合せを行い、実施の判断をする。 ○ 団体引率者は、緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員、団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合、整列、人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導、指示に従う。 ○ 他の海洋・海浜活動との組み合わせも可とする。 (例：いかだ+海遊び 等 ※ 要相談)



活 動 名		(2) カヌー
活動のねらい		カヌー漕艇を通して、互いに協力したり、自己の役割を果たしたり、一人一人の違いを認めようとしたりするなどの意欲を育てるとともに、海洋に対する興味・関心を高める。
活動の主な時期		4月～10月 (波の高さ1.5m以下、風速6m以下、波打ち際に立って波高膝下)
時 間 ・ 費 用		140～270分(2～3コマ分)※移動方法で活動時間が変わります。・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・10人以内(カヌー：二艇)
場 所		海洋・海浜研修場(朝仁海岸)
準備品	研修団体	水着、濡れてもよい服、着替え、靴(マリンシューズ)、タオル、帽子、水筒
	自然の家	救命胴衣、水上バイク、パドル、カヌー、トランシーバー、救助浮き輪
活動内容	自然の家	1 集合、出発前の確認(多目的広場等) 2 移動時の安全面説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 (徒歩で片道約〈小学生40～60分〉〈中学生30分～40分〉車で約15分)
	艇庫(朝仁海岸)	4 集合、救命胴衣の着用、点呼 5 道具等の準備 6 説明 (1) カヌーの操艇の仕方 (2) 安全面 7 活動 (1) カヌー活動をする。 (2) 気付いたこと、学んだことをもとに振り返りをする。 (3) 後片付けをする。 8 集合、点呼、あいさつ(海洋・海浜研修場) 9 団体引率者の指示に従って移動
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき、自然の家職員と打合せを行い、実施の判断をする。 ○ 団体引率者は、緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員、団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合、整列、人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導、指示に従う。 ○ 他の海洋・海浜活動との組み合わせも可とする。 (例：カヌー+SUP 等 ※ 要相談)



活 動 名		(3) SUP
活動のねらい		SUP 漕艇を通して、互いに協力したり、自己の役割を果たしたり、一人一人の違いを認めようとしたりするなどの意欲を育てるとともに、海洋に対する興味・関心を高める。
活動の主な時期		4月～10月 (波の高さ1.5m以下、風速6m以下、波打ち際に立って波高膝下)
時 間 ・ 費 用		140～270分(2～3コマ分)※移動方法で活動時間が変わります。・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・30人以内(SUP：一艇)
場 所		海洋・海浜研修場(朝仁海岸)
準備品	研修団体	水着、濡れてもよい服、着替え、靴(マリンシューズ)、タオル、帽子、水筒
	自然の家	救命胴衣、水上バイク、パドル、SUP、トランシーバー、救助浮き輪
活動内容	自然の家	1 集合、出発前の確認(多目的広場等) 2 移動時の安全面説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 (徒歩で片道約〈小学生40～60分〉〈中学生30分～40分〉車で約15分)
	艇庫(朝仁海岸)	4 集合、救命胴衣の着用、点呼 5 道具等の準備 6 説明 (1) SUPの操艇の仕方 (2) 安全面 7 活動 (1) 活動をする。 (2) 気付いたこと、学んだことをもとに振り返りをする。 (3) 後片付けをする。 8 集合、点呼、あいさつ(海洋・海浜研修場) 9 団体引率者の指示に従って移動
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき、自然の家職員と打合せを行い、実施の判断をする。 ○ 団体引率者は、緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員、団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合、整列、人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導、指示に従う。 ○ 他の海洋・海浜活動との組み合わせも可とする。 (例：SUP+カヌー 等 ※ 要相談)



活 動 名		(4) カッター
活動のねらい		カッター漕艇を通して、互いに協力したり、自己の役割を果たしたり、一人一人の違いを認めようとしたりするなどの意欲を育てるとともに、海洋に対する興味・関心を高める。
活動の主な時期		4月～10月(潮位100cm以上、波の高さ1.5m以下、風速6m以下、波打ち際に立って波高膝下)
時 間 ・ 費 用		140～270分(2～3コマ分)※移動方法で活動時間が変わります。・無料
対 象 ・ 人 数		中学生以上・一艇につき16人程度
場 所		海洋・海浜研修場(朝仁海岸)
準備品	研修団体	水着,濡れてもよい服,着替え,靴(マリンシューズ),タオル,帽子,水筒
	自然の家	救命胴衣,カッター,櫂,水上バイク,トランシーバー
活動内容	自然の家	1 集合,出発前の確認(多目的広場等) 2 移動時の安全面説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 (徒歩で片道約〈小学生40～60分〉〈中学生30分～40分〉車で約15分)
	艇庫(朝仁海岸)	4 集合,救命胴衣の着用,点呼 5 道具等の準備 6 説明 (1) カッター操艇の方法 (2) 安全面 7 活動 (1) 漕艇をする。 (2) 気付いたこと,学んだことをもとに振り返りをする。 (3) 後片付けをする。 8 集合,点呼,あいさつ(海洋・海浜研修場) 9 団体引率者の指示に従って移動
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき,自然の家職員と打合せを行い,実施の判断をする。 ○ 団体引率者は,緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員,団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合,整列,人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導,指示に従う。



活 動 名		(5) 海遊び（水に親しむ活動）
活動のねらい		砂浜海岸での活動を通して、自然の素晴らしさを知り、それらを大切にしていこうとする態度を育てる。
活動の主な時期		4月～10月
時 間 ・ 費 用		140～270分（2～3コマ分）※移動方法で活動時間が変わります。・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120人以内
場 所		海洋・海浜研修場（朝仁海岸）
準備品	研修団体	水着，濡れてもよい服，靴（マリンシューズ），ゴーグル，シュノーケル
	自然の家	救命胴衣，ロープ，水上バイク，トランシーバー，救助浮き輪
活動内容	自然の家	1 集合，出発前の確認（多目的広場等） 2 移動時の安全面説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 （徒歩で片道約〈小学生 40～60 分〉〈中学生 30 分～40 分〉車で約 15 分）
	艇庫（朝仁海岸）	4 集合，救命胴衣の着用，点呼 5 説明 (1) 海遊びの仕方 (2) 安全面 6 活動 (1) 複数で活動する。（バディシステム） (2) 適宜点呼を行い，終了時の点呼は確実に行う。 (3) 気付いたこと，学んだことをもとに振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 7 集合，点呼，あいさつ（海洋・海浜研修場） 8 団体引率者の指示に従って移動する。 
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき，自然の家職員と打合せを行い，実施の判断をする。 ○ 団体引率者は，緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員，団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合，整列，人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導，指示に従う。 ○ 他の海洋・海浜活動との組み合わせも可とする。 （例：いかだ＋海遊び 等 ※ 要相談）

活 動 名		(6) サンドクラフト
活動のねらい		サンドクラフトを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組み、協力して作品を完成させようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		海洋・海浜研修場（朝仁海岸）
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	ポリバケツ、小バケツ、スコップ、移植ゴテ、造形用へら
活動内容	自然の家	1 集合、出発前の確認（多目的広場等） 2 移動時の安全面説明 3 海洋・海浜研修場へ移動 （徒歩で片道約〈小学生 40～60 分〉〈中学生 30 分～40 分〉車で約 15 分）
	艇庫（朝仁海岸）	1 集合、あいさつ 2 説明 （1）道具、材料等の配布（2）製作の流れ （3）安全面 3 活動 （1）ポリバケツ等に砂と水を入れ、固める。 （2）固めた砂をポリバケツ等から （3）造形用へらなどを使って、砂を削りとりて形を作る。 （4）作品が完成したら相互鑑賞をする。 （5）後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ どのような砂像を作るかテーマを決め、デザインを話し合っておく。 ○ 他の海洋・海浜活動とローテーションで行う場合は、事前に引率者と活動時間について確認する。 ○ 他の海洋・海浜活動との組み合わせも可とする。 （例：いかだ＋海遊び 等 ※ 要相談）

活 動 名		(7) 熱帯魚ウォッチング ※ 要相談
活動のねらい		リーフを利用した熱帯魚ウォッチングを通して、自然の素晴らしさを知り、それらを大切にしていこうとする態度を育てる。
活動の主な時期		4月～10月(潮位 60 cm以上、波の高さ 1.5m以下、風速 6 m以下、波打ち際に立って波高膝下)
時 間 ・ 費 用		140 分・無料
対 象 ・ 人 数		中学生以上・30 人程度
場 所		貝浜(タイドプール：リーフ内の海)
準備品	研修団体	水着，濡れてもよい服，靴（マリンシューズ），ゴーグル，シュノーケル，携帯トイレ
	自然の家	救命胴衣，水上バイク，ロープ，救助浮き輪
活動内容	自然の家	1 集合，救命胴衣の着用，あいさつ(多目的広場) 2 移動時の説明(安全面) 3 貝浜へ移動
	艇庫(朝仁海岸)	4 集合，点呼(貝浜) 5 説明 (1) 熱帯魚ウォッチングの仕方 (2) 安全面 6 活動 (1) 複数で活動する。(バディシステム) (2) 適宜点呼を行い，終了時の点呼は確実に行う。 (3) 気付いたこと，学んだことをもとに振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 7 集合，点呼，あいさつ(貝浜) 8 団体引率者の指示に従って移動
留意事項	研修団体	○ 「海洋・海浜活動にかかる規定等」に基づき，自然の家職員と打合せを行い，実施の判断をする。 ○ 団体引率者は，緊急時の連絡者を決めておく。 ○ 自然の家職員，団体引率者全員での監視を徹底する。 ○ 集合，整列，人員点呼は団体引率者が確実に行う。 ○ 必ず自然の家職員の指導，指示に従う。



活動マニュアル

1 活動前と活動後の流れ(例)(全活動共通) 140～270分(2～3コマ分)

※ この流れは、往復100分程度の徒歩移動の場合を想定して作成しています。(バス等利用の場合は短縮)

※ 活動の流れは、【移動→活動→昼食→移動】や【移動→昼食→活動→移動】等が考えられます。その場合、昼食時間60分間が加算されます。

時間	活動内容	場所	研修生の動き	指導事項及び動き	
				団体引率者	自然の家職員
	準備	各部屋	- 健康状態を確認する。 - 用具を準備し、着替える。 (帰所後、シャワーの場合)→帰所後の着替えを浴室更衣室に置いて、上履き・タオルを渡り廊下に置く。	- 団体引率代表が職員と打合せを行う。 - 健康観察をする。 - 用具等を準備し、着替える。	- 用具等を準備する。 【トランシーバー、カギ等】 - 先発職員は、海洋・海浜研修場の状況を報告し、所長が実施判断をする。
5分	1 集合 あいさつ	多目的広場	5分前に集合する。 - 人員点呼・健康観察を行い、引率者へ報告する。 - あいさつする。	- 報告を受け、健康状態を把握し、職員に報告する。 - 健康状態の優れない研修生の対応をする。	参加人数と健康状態を把握する。
5分	2 移動時の注意確認		- 移動時の留意事項を確認する。 ・ 4つのは「(ハブ、ハチ、ハゼノキ、走らない)」に注意する。 ・ ハチが出た場合は、大声を出さない。 ・ 外履きを履いて移動する。 ・ 交通安全に気をつける。※ 上記を守らなければ中止もあり得る。		- 留意事項を説明する。 - 先発職員は、活動準備を行う。
40分	3 移動		一列で、安全に留意しながら移動する。	先頭・間・後方に入り、研修生の指導・見届けを行う。	先頭で引率する。
10分	4 集合 点呼		- 荷物を置く。 - トイレを済ませ、水分補給をする。 - 集合・整列する。 - 人員点呼・健康観察を行い、引率者に報告する。	- 報告を受け、健康状態を把握し、職員に報告する。 - 健康状態の優れない研修生の対応をする。	- 荷物置場とトイレの位置を伝える。 - 先発職員と主担当が状況を確認する。 - 参加人数・健康状態を把握する。
10分	5 準備	海洋・海浜研修場	救命胴衣を着用する。	救命胴衣を着用し、指導・見届けを行う。	用具の確認と救命胴衣の着用を確認する。
75分	6 説明 7 活動		海洋・海浜活動を行う。 ※P 6～17を参照		
40分	8 後始末 着替え		- バケツで救命胴衣をすすぐ。 - 救命胴衣を棚にかけてかわかす。 - バケツでマリンシューズを洗い、持ち帰る。 - 水道又はシャワーで足を洗い、体をよく拭く。 - シャワーを浴び、艇庫で着替える。		- いかだやカヌー等を片付ける。 - 着替え中は、入口の扉を閉める。
5分	9 集合 点呼 あいさつ		- 集合、整列する。 - 人員点呼と健康観察を行い、引率者へ報告する。	- 報告を受け、健康状態を把握し、職員に報告する。 - 健康状態の優れない研修生の対応をする。	- 参加人数・健康状態を把握する。 - 活動のまとめ・振り返りを行う。 - 移動時の留意事項、帰所後の行動等を説明する。
60分	10 所へ移動		一列で安全に留意しながら移動する。	先頭・間・後方に入り、研修生の指導・見届けを行う。	- 研修生の引率を依頼する。 - 所に移動開始を連絡する。 - 忘れ物等の確認をする。

2 活動前と活動後の流れ（全活動共通）160分（2コマ+休憩含む）※貝浜での活動（西鍛錬道使用）

時間	活動内容	場所	研修生の動き	指導事項及び動き	
				団体引率者	自然の家職員
	準備	各 部 屋	○ 健康状態を確認する。 ○ 用具等を準備し、着替える。 ○ 帰所後の着替えを浴室更衣室に置く。 ○ 上履き・タオルを渡り廊下に置く。	○ 団体引率代表が職員と打合せを行う。 ○ 健康観察をする。 ○ 用具等を準備し、着替える。	○ 用具等を準備する。 【トランシーバー、救命胴衣、バケツ、水槽等】 ○ 先発職員が貝浜へ移動する。
5分	1 集合 あいさつ	多 目 的 広 場	○ 5分前に集合する。 ○ 救命胴衣を着用する。 ○ 人員点呼・健康観察を行い、引率者へ報告する。 ○ あいさつする。	○ 救命胴衣を着用し指導・見届けを行う。 ○ 研修生の健康状態を把握し、自然の家職員に報告する。 ○ 健康状態の優れない研修生の対応をする。	○ 用具置場と救命胴衣着用を確認する。 ○ 参加人数と健康状態を把握する。 ○ 先発職員は、貝浜の状況を報告し、所長が実施判断をする。
5分	2 移動時の注意確認		○ 移動時の留意事項を確認する。 ・ 前の人との間隔を十分に空けて歩く。 ・ 4つの「は（ハブ、ハチ、ハゼノキ、走らない）」に注意する。 ・ ハチが出た場合は、大声を出さない。 ・ 外履きを履いて移動する。 ・ 上記を守らなければ中止もあり得る。		○ 留意事項を説明する。 ○ 先発職員は、活動準備を行う。
40分	3 貝浜へ移動	※	○ 一列で、安全に留意しながら移動する。	○ 先頭・間・後方に入り、研修生の指導・見届けを行う。	○ 先頭で引率する。
10分	4 集合 点呼 あいさつ		○ 荷物を置く。 ○ 水分補給をする。 ○ 集合・整列する。 ○ 人員点呼・健康観察を行い、引率者に報告する。	○ 研修生の健康状態を把握し、職員に報告する。 ○ 健康状態の優れない研修生の対応をする。	○ 荷物置場の場所を伝える。 ○ 先発職員と主担当が状況を確認する。 ○ 参加人数・健康状態を把握する。
35分	5 説明 6 活動	貝 浜	○ 海洋・海浜活動を行う。 ※P 6～17を参照		
5分	7 集合 点呼 あいさつ		○ 集合、整列する。 ○ 人員点呼と健康観察を行い、引率者へ報告する。	○ 報告を受け、健康状態を把握し、職員に報告する。 ○ 健康状態の優れない研修生の対応をする。	○ 参加人数・健康状態を把握する。 ○ 活動のまとめ・振り返りを行う。 ○ 移動時の留意事項、帰所後の行動等を説明する。
60分	8 所へ移動	※	○ 一列で安全に留意しながら移動する。	○ 先頭・間・後方に入り、研修生の指導・見届けを行う。	○ 研修生の引率を依頼する。
	後始末	広 場	○ 創作のやかたの水槽で救命胴衣をすすぐ。 ○ 多目的広場に行く。 ① 救命胴衣をハンガーにかける。 ② バケツでマリンシューズを洗い、ベンチに干す。 ③ 水道で足を洗い、渡り廊下でよく拭く。 ○ 浴室でシャワーを浴び、着替える。		○ 所に移動開始を連絡する。 ○ 忘れ物等の確認をする。

3 スポーツ活動

活 動 名		(I) グラウンドゴルフ
活動のねらい		グラウンドゴルフを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・50 人以内
場 所		自然の家オリジナルコース(8ホール)
準 備 品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	クラブ、ボール、ホールポスト、マット、スコアカード
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【グラウンドゴルフ】 専用のクラブを使って、ボールをホールポストに入れるまでの打数を競い合うゲーム (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留 意 事 項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班4～6人程度) ○ クラブを使用する際は周囲を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。

活 動 名		(2) パターゴルフ
活動のねらい		パターゴルフを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		中学生以上・25 人以内
場 所		自然の家ミニコース(9ホール)
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	パター、ゴルフボール、マット、スコアカード
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班4人程度) ○ クラブを使用する際は周囲を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。



活 動 名		(3) ターゲットバードゴルフ
活動のねらい		ターゲットバードゴルフを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		中学生以上・25 人以内
場 所		自然の家ミニコース(6ホール)
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	ボール、クラブ、アドバンテージホール、スコアカード
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【ターゲットバードゴルフ】 羽根つきのボールを打って、ホールに入れるまでの打数を競い合うゲーム (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班4人程度) ○ クラブを使用する際は周囲を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。



活 動 名		(4) ペタンク
活動のねらい		ペタンクを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・24 人以内
場 所		つどいの広場 など
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	ペタンクセット
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【ペタンク】 鉄製のボールをターゲットに向けて 投げ合うゲーム（屋外） (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一班6人程度) ○ ボール（鉄製）の取り扱いに気を付け、投げる際は、目標地点等に人がいない事を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。



活 動 名		(5) ソフトバレーボール
活動のねらい		ネット型のボール運動を楽しむ活動を通して、参加者同士の親睦や交流を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・40 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ、水筒、タオル
	自然の家	ソフトバレーボール、支柱、ネット
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【ソフトバレーボール】 柔らかいボールを打ち合うゲーム（ネット型） (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動  (1) 準備運動をする。 (2) グループごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 ※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編制を行っておく。 ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給を促す。

活 動 名		(6) インディアカ
活動のねらい		ネット型のゲームであるインディアカを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		中学生以上・40 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒
	自然の家	インディアカ、支柱、ネット
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【インディアカ】 羽根のついたボールを打ち合うゲーム（ネット型） (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) グループごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ バレーボール型のスポーツです。 ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給を促す。



活 動 名		(7) スポレック
活動のねらい		ネット型のゲームであるスポレックを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・20 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ、水筒、タオル
	自然の家	ボール、ラケット、ネット、支柱
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【スポレック】 ラケットを使ってボールを打ち合うゲーム (ネット型) (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) チームごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 ※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一チーム2～4人程度) ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ ラケットを使いボールを打つ際は周囲を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。

活 動 名		(8) ピロポロ
活動のねらい		ゴール型のゲームであるピロポロを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・40 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ、水筒、タオル
	自然の家	スティック、ボール、ゴール、得点板、仕切り板
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【ピロポロ】 (1) 道具等の配布 スティックを使ったボール運動（ゴール型） (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) グループごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 ※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。（一チーム6人程度） ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ スティックを使いボールを打つ際は周囲を確認するよう注意する。 ○ 適宜水分補給を促す。



活 動 名		(9) キンボールスポーツ
活動のねらい		キンボールスポーツを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・12～40 人程度
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ、水筒、タオル
	自然の家	キンボール、ビブス、得点板、ブロワー
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 【キンボールスポーツ】 (1) 道具等の配布 大きなやわらかいボールを床に落とさないようにチームで協力しながらするゲーム (2) ルール (3) 安全面 3 活動  (1) 準備運動をする。 (2) グループごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 ※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。(一チーム4～6人程度) ○ 一チームのコートプレイヤーは4人まで ○ 特に、雨天時等は床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給を促す。

活 動 名		(10) ボッチャ
活動のねらい		ボッチャを楽しむ活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・50 人
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ、水筒、タオル
	自然の家	ボッチャ、ビブス、得点板、マーカー
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具等の配布 (2) ルール (3) 安全面 【ボッチャ】 ターゲットに向けてボールを投げ合い、近さを競い合うゲーム  【はじめのルール】 ○ 赤がジャックボールを投げる。 ○ 赤が投げる。 ○ 青が投げる。 ○ 遠い方が投げる。 ○ 最後にジャックボールに相手よりも近いボールの数が得点となる。 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) グループごとに分かれて作戦を話し合う。 (3) みんなが楽しめるルールや得点するための作戦を考えて練習やゲームをする。 ※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (4) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行っておく。 ・一チーム3人程度、三チーム（赤・青・審判） ○ 特に、雨天時等は床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給を促す。

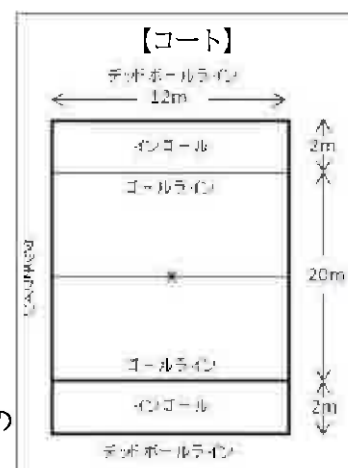
活 動 名		(II) 卓球, バドミントン
活動のねらい		卓球やバドミントンに取り組む活動を通して, 参加者相互の交流や親睦を深め, スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70～140 分以内・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・30 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	体育館用シューズ, タオル, 水筒
	自然の家	卓球用具, バドミントン用具
活 動 内 容		1 集合, あいさつ 2 説明 (1) 道具の準備 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや, 得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き, 活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合, あいさつ
留意事項	研修団体	○ 適宜水分補給を促す。 ○ 特に雨天時等は, 床が滑りやすいので注意するとともに, 必ず屋内履きで活動する。 ○ 自然の家職員の説明をよく聞いて, 必要に応じて個別に対応できるようにする。



活 動 名		(12) モルック
活動のねらい		モルックの活動を通して、参加者相互の交流や親睦を深め、スポーツに親しもうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・無料
対象・人数		小学生以上・20人以内
場 所		つどいの広場、体育館(マット使用)
準備品	研修団体	帽子、タオル、水筒、体育館用シューズ
	自然の家	モルック用具、ビブス、得点板、マーカー
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具の準備 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。※ 交代を自由にするなど全員が参加できるようにする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 【ルール】 ・モルックを投げて倒れたスキットルの内容(本数または表示されている数字)によって、50点ピッタリになるまで得点した方が勝ち。ただし、50点を超えてしまった場合は、25点へ減点され、ゲームが継続される。 ・1セットの試合時間は15分(全4セット)。時間になったあとは、投擲回数が各チーム同数になった時点の得点が50点に近いチームの勝ち。 ・3回連続でスキットルに当たらなかった場合、失格となる。
留意事項	研修団体	○ 適宜水分補給を促す。 ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 自然の家職員の説明をよく聞いて、必要に応じて個別に対応できるようにする。 ○ 1チーム5人程度×4チームで実施する。

活 動 名	(13) タグで遊ぼう	
活動のねらい	タグを使った遊びに取り組む活動を通して、親睦や交流を深めるとともに、主体的に自己の気力、体力づくりに励もうとする態度を育てる。	
活動の主な時期	通年	
時 間 ・ 費 用	70 分 ・ 無料	
対 象 ・ 人 数	幼児以上 ・ 40 人以内	
場 所	体育館及び多目的広場	
準 備 品	研修団体	体育館用シューズ、タオル、水筒 など
	自然の家	タグ用具、ボール など
活 動 内 容	1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具の準備 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、遊び方を工夫して活動する。 (3) 活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 【タグを使った遊び例】 ○手つなぎタグとり ○タグとりヘビ ○牛馬ゲーム ○1列ボールリレー ○ボールかタグか ○タグとり鬼 など	
留 意 事 項	○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給をする。	

活 動 名	(14) タグラグビー	
活動のねらい	タグラグビーに取り組む活動を通して、親睦や交流を深めるとともに、主体的に自己の気力、体力づくりに励もうとする態度を育てる。	
活動の主な時期	通年	
時 間 ・ 費 用	70 分～140 分・無料	
対 象 ・ 人 数	小学生以上・20 人以内	
場 所	体育館及び多目的広場	
準 備 品	研修団体	体育館用シューズ、タオル、水筒 など
	自然の家	タグ用具、ボール など
活 動 内 容	1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具の準備 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 準備運動をする。 (2) みんなが楽しめるルールや、得点するための工夫を考えて練習やゲームをする。 (3) ゲームが終了したら成績を聞き、相互評価をする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ	
留 意 事 項	○ 1チーム4～5人程度で実施する。 ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 適宜水分補給をする。	



4 天体に関する活動

活 動 名		(1) 天体観察 (雨天・曇天時は、(3)「星の話」)
活動のねらい		季節の星座の学習やクーデ式望遠鏡、天体望遠鏡等を使って月や惑星、星雲等を観察する活動を通して、天体に関する興味・関心を高めるとともに、宇宙の広さや神秘に気付き、探求しようとする心を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		60 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・120 人以内
場 所		研修室、天体観察研修棟、多目的広場
準備品	研修団体	筆記用具、懐中電灯
	自然の家	ランタン、クーデ式望遠鏡、天体望遠鏡、スコープ、双眼鏡
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 活動の順序や安全面の指導を行う。 3 活動 (1) 星座や星、宇宙に関する話、天体望遠鏡の仕組みや使い方を聞く。 (2) 肉眼で星座や星を探す。 (3) クーデ式望遠鏡や天体望遠鏡、スコープ、双眼鏡等で星空の観察をする。 ※ 団体の人数規模によって(1)~(3)をローテーションで実施するなど、事前に打ち合わせた上で実施する。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 風呂上がりや寒い季節は、防寒する。 ○ 事前打合せで、必要に応じて学級や学年をグループ分けする。 ○ 研修生の引率をする。



活 動 名		(2) 太陽観察
活動のねらい		遮光板で太陽を見る活動やクーデ式望遠鏡を使って黒点等を観察する活動を通して、太陽や太陽系に対する興味・関心を高める。
活動の主な時期		通年(晴天時)
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		小学生以上・50 人以内
場 所		天体観察研修棟，研修室，多目的広場 など
準備品	研修団体	筆記用具
	自然の家	クーデ式望遠鏡，投影板，遮光板
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 活動の順序や安全面の指導を行う。 3 活動 (1) 太陽や太陽系に関する話を聞く。 (2) クーデ式望遠鏡により観察する。 (3) 遮光板で太陽を見てその形を確かめる。 ※ 団体の人数規模によって(1)～(3)をローテーションで実施するなど、事前に打ち合わせた上で実施する。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 肉眼で直接太陽を見たり望遠鏡で覗いたりしないように、安全面に対する注意を行う。



活 動 名		(3) 星の話
活動のねらい		季節の星空の学習や宇宙開発の学習,クーデ式望遠鏡の仕組みを知る活動を通して,天体に関する興味・関心を高め,さらに探求しようとする心を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		60 分～70 分・無料
対 象 ・ 人 数		幼児から成人まで・60 人(20 人3 グループ) 以内
場 所		研修室, 天体観察研修棟
準 備 品	研修団体	筆記用具
	自然の家	PC, プロジェクタ, 延長コード
活 動 内 容		1 集合, あいさつ 2 説明 (1) 活動の流れ説明。 (2) 季節の星空の話・星空クイズなど。 (3) 最新の宇宙開発についての説明(アルテミス計画等)。 3 活動 (1) 天体観察研修棟見学。 (2) クーデ式望遠鏡見学。 4 集合, あいさつ
留 意 事 項	研修団体	○ 大人数の場合は,研修室での説明と天体観察研修棟・クーデ式望遠鏡見学の最大3グループ程度に分けて,ローテーションで活動できるようにする。 ○ ローターションの一つ,天体観察研修棟階段に掲示してある資料を読む活動の際には,研修生管理を行う。

5 創作活動

活 動 名		(I) プラホビー
活動のねらい		プラホビー作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・100円
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120人以内
場 所		研修室、創作のやかた など
準備品	研修団体	A5サイズ程度の下絵（自然の家にもありますが、必要に応じて準備してください。）
	自然の家	プラ板、油性マジック、キーホルダー、下絵見本、伸ばし板 はさみ、穴あけパンチ、ラジオペンチ、オーブントースター くっつかないアルミホイル、割り箸、軍手
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 ※(3)～(5)は自然の家職員が行います。 (1) 絵・デザイン等を決めて、プラ板に油性マジックで描く。 (2) はさみで形を整え(角を残さない)、パンチで穴をあける。 (3) しわを付けたアルミホイルの上にプラ板(絵を描いた面を上)を置き、オーブントースターで熱する。 (4) プラ板が収縮した後に、平らになるタイミングで取り出して、伸ばし板ではさむ。 (5) ラジオペンチでキーホルダーを取り付ける。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ プラ板のペンで描いた面はアルミホイルにくっつくことがあるため、片面にのみ描かせる。



活 動 名		(2) サンドアート
活動のねらい		サンドアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		140 分・150 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム
	自然の家	台紙(色紙に粘着紙を貼り付けたもの)，アートナイフ，スプーン(各色用)，見本絵，着色砂，ラップ，セロハンテープ，カーボン紙
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 台紙に貼り付けた粘着紙に鉛筆で下絵を描く。 ※ カーボン紙を使って，見本絵を写してもよい。 (2) 下絵に沿ってすべての色の境界をアートナイフでカットする。 ※ 色紙まで深く刃を入れない。(粘着部分がはがれるため) (3) はく離紙を丁寧にはがし，色砂をスプーンでふりかける。 ※ 細かい部分からはがす。(目，口など) ※ 粘着部分まではがさないように気を付けながら，はく離紙をはがす。 (4) 台紙の裏から軽くたたいて，余分な色砂を落とす。 (5) ラップでくるむ。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ アートナイフの取扱いについては，十分気を付ける。 ○ 色砂が混ざらないように気を付ける。



活 動 名		(3) サンゴクラフト
活動のねらい		サンゴクラフト作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・50円
対象・人数		幼児以上・120人以内
場 所		研修室、創作のやかた など
準備品	研修団体	サンゴ、貝殻、シーグラス
	自然の家	ホットボンド
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) サンゴの形から、イメージをふくらませる。 (2) サンゴをホットボンドで接着しながら組み立てる。 (3) 組み立てたサンゴに、ホットボンドで貝殻やシーグラスを付ける。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ホットボンドの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ グルーガンの先やホットボンドは高温になっているため、直接触らないように気を付ける。 ○ 作品を持ち帰ることを考慮し、作品の大きさには留意する。

活 動 名		(4) Seaストラップ
活動のねらい		紙製のひもを編み、ストラップを作る活動を通して、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・50 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・50 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	ラジオペンチ，はさみ，水引（紙製のひも），ビーズ，貝殻，サンゴ
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 自分が作りたいものをはっきりさせ，材料を選ぶ。 (2) 編み方や糸の端の処理に気を付けながら作品を仕上げる。 (3) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (4) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ ストラップの編み方については，団体引率者も事前に研修し，指導ができるようにする。



活 動 名		(5) 木エペンダント
活動のねらい		木エペンダント作りを通して，創作の喜びを味わうとともに，創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・50 円
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	輪切りの木(ヒサカキやサザンカ等，ツバキ科の植物)，サンドペーパー，マジックペン，ひも，丸カン，ラジオペンチ，新聞紙
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 輪切りにした木をサンドペーパーで磨いて，表面をなめらかにする。 (2) マジックペンで絵を描く。 (3) 丸カンを取り付けて，ひもを通す。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にどのような絵を描くのかある程度の構想を練っておく。



活 動 名		(6) 焼き板
活動のねらい		焼き板作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		140 分・200 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服装
	自然の家	杉板、ガスバーナー、たわし、布、ヒートン、アルミマンテル、アクリル絵の具、筆
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉板をバーナーで焼き、焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすすを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) ヒートンとマンテルを取り付ける。 (5) 好きな絵や文字を描く。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(7) フォトフレーム
活動のねらい		フォトフレーム作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		140 分・300 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・80 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服、貝殻、シーグラス、サンゴ
	自然の家	杉材、プラ板、色画用紙、木ねじ、タッカー、木工用ボンド、ヒートン、たわし、布、キリ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉材を寸法通りに切り、バーナーで焼いて焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすずを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) 木工用ボンドで接着して枠を作り、ホッチキスで仮留めする。 (5) プラ板2枚、色画用紙を1枚重ねて置き、写真を入れる角を残して、周りを木ねじで止める。(3箇所木ネジ、1箇所ヒートン) (6) フレーム支えをボンドで付ける。 (7) 表に向けてシーグラスや貝を貼る。 (8) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (9) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(8) 壁掛け
活動のねらい		壁掛け作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分(人数によっては 70 分～140 分)・100 円
対 象 ・ 人 数		小学5年生以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	軍手、汚れてもよい服、貝殻、シーグラス、サンゴ
	自然の家	洋折(L字フック)、麻紐、杉板(焼き板の半分)、ガスバーナー、たわし、布、木工用ボンド
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 杉板をバーナーで焼いて焼き色を付ける。 (2) たわしでこすってすずを落とす。 (3) 布でこすってつやを出す。 (4) 麻紐や洋折(L字フック)を取り付ける。 (5) 準備したシーグラスや貝殻をつける。 (6) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ ガスバーナーの取扱いについては、十分気を付ける。 ○ ガスバーナー使用中や使用後は、ガスバーナーのバーナー部が高温になるため触らないよう十分注意する。 ○ ガスバーナー使用後は、ガス栓を閉め、安全な場所に置く。



活 動 名		(9) 七宝焼
活動のねらい		七宝焼作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・350円
対象・人数		小学生以上・80人以内
場 所		研修室 など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	キーホルダー、厚紙、ホセ、水入れ、釉薬、瞬間接着剤、電気炉、つまようじ、キッチンペーパー、ピンセット
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 銅板を洗剤につけて水洗いをする。 (2) 銅板にホセで2～3色程度の釉薬を乗せ、デザインする。 ※ 釉薬を乗せすぎないようにする。 ※ 釉薬が銅板からはみ出さないようにする。 ※ 2色以上の釉薬を乗せる場合は、ホセをしっかりと洗う。 (3) 銅板を金網にのせ、電気炉で焼いてもらう。 (4) 冷めたら、接着剤でキーホルダーに取り付ける。 (5) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にキーホルダー（5種類）を選択し、デザインを考えておく。（5種類・・・①丸形②雫型③エンゼルフィッシュ④イルカ⑤ハート） ○ 電気炉は800℃以上になるので、さわらないように注意する。 ○ 釉薬が混ざらないように注意する。



活 動 名		(10) 藍染
活動のねらい		藍液で布を染める活動を通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分～140 分・400 円(ハンカチ代含む)
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		創作のやかた など
準備品	研修団体	使い捨て手袋
	自然の家	ハンカチ、藍液(インド藍、溶解液、安定剤、ハイドロ、ソーダ灰) 絞り道具、ゴム手袋、酢酸、洗濯ばさみ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) ハンカチに絞りを入れる。 (2) 藍液に10分間つける。 (3) 藍液から取り出して10分間空気にさらし、水洗い(1回目)をする。 (4) 絞りを外してさらに空気にさらし、色が変わったら水洗い(2回目)をする。 (5) 酢酸に5分間つけて色留めをし、水洗い(3回目)をする。 (6) 干して乾かしながら相互鑑賞をする。 (7) 後片付けをする。(使った絞り道具や汚れた場所の清掃) 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 手を汚さないように使い捨て手袋を使う。 ○ 衣服に藍液が付かないように気を付ける。



活 動 名		(II) 紬クラフト
活動のねらい		紬クラフトを作る活動を通して、創作の喜びを味わうとともに、身近な場所に素材があることに気付き、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・200円
対象・人数		小学5年生以上・100人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム，手ふき用タオル
	自然の家	二枚貝1組，大島紬の端布，ひも(赤)，錦糸(金・銀)，鈴，短冊， 接着剤，両面テープ，木工用ボンド
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 貝殻の蝶つがい部分を外して，片方ずつにする。 (2) 貝殻の内側に木工用ボンドを適量つける。 (3) 裁断した布地でそれぞれの貝殻をくるみ，木工用ボンドで固定する。 (4) 赤いひもに鈴を通す。 (5) 貝殻の内側の縁に接着剤を塗り，自分の思いを書いた短冊を入れて，貝でひもの端を挟んで押さえる。 (6) 貝の縁に接着剤を付け，錦糸で縁飾りをする。 (7) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (8) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ 手についた接着剤はこまめに拭き取るように注意する。



活 動 名		(12) なりキーホルダー
活動のねらい		なり（ソテツの実）に絵を描く活動を通して、身近な場所に素材があることに気づき、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・100円
対象・人数		小学生以上・100人以内
場 所		研修室，創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆，消しゴム
	自然の家	キーホルダー付なり，油性マジック，ニス，トイレットペーパー，なり乾燥台
活 動 内 容		1 集合，あいさつ 2 説明 (1) 道具，材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 鉛筆で薄く下絵を描き，油性マジックで色を塗る。 ※ 下絵はなくてもよい。 (2) 絵を描いた裏面には，油性マジックで文字を書く。 ※ 文字は希望者のみ。裏面も絵でよい。 (3) ニスを塗って乾燥させる。 (4) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (5) 後片付けをする。 4 集合，あいさつ
留意事項	研修団体	○ ニスを塗って感想させる際は，窓を開けて換気をする。



活 動 名		(13) ジェルアート
活動のねらい		ジェルアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、身近な場所に素材があることに気づき、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・200 円
対 象 ・ 人 数		小学生以上・80 人以内
場 所		研修室 など
準備品	研修団体	貝がら、サンゴ、シーグラス、その他季節感のある素材等飾りになるもの（ラメ、ビーズ、おはじき）
	自然の家	ジェルワックス、瓶、色砂、わりばし、ピンセット、軍手、ホットプレート、計量カップ、付箋
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 色砂を瓶の1／3程度入れる。 (2) 貝がらやビー玉、シーグラスなどを色砂の上に並べる。 (3) ジェルワックスを温めて溶かす。 (4) 溶かしたジェルワックスを瓶にゆっくり流し込む。 (5) 作品が完成したら相互鑑賞をする。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 流し込んだジェルワックスは、熱いのでやけどに十分注意する。



活 動 名		(14) 折り染めうちわ
活動のねらい		折り染めうちわ作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・150円
対象・人数		5年生以上・50人以内
場 所		研修室、体育館 など
準備品	研修団体	鉛筆、消しゴム、アイロン（研修人数に応じて）
	自然の家	和紙（一人2枚）、うちわの骨、はさみ、スティックのり、染料、吸い取り紙（習字紙）、アイロン、アイロン台、見本
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 和紙を折る。 (2) 和紙を染料に付ける。 (3) 和紙を乾かす。 (4) 乾いた和紙をうちわの枠に合わせて切る。 (5) うちわの骨にのりをつけ、和紙を貼り付ける。 (6) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 染料が服などにつかないように気をつける。 ○ アイロンを使用するときには、やけどをしないように気をつける。 ○ 30人以上の団体は、研修生的人数に応じてアイロンを準備する。

活 動 名		(15) 折り染めバッグ
活動のねらい		折り染めバッグ作りを通して、和紙の折り染め技法を知り、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら、主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分～140分・100円
対 象 ・ 人 数		5年生以上・50人以内
場 所		研修室、体育館 など
準備品	研修団体	鉛筆、消しゴム、アイロン（研修人数に応じて）
	自然の家	和紙（一作品2枚）、厚紙、取っ手用和紙、取っ手貼付用和紙、台紙、はさみ、スティックのり、染料、見本、吸い取り紙、アイロン、アイロン台延長コート
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具、材料等の配布 (2) 製作の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 和紙を染める。 (2) 2枚の和紙を貼り付ける。 (3) バッグの形に成形し、取っ手をつける。 (4) 完成品を相互鑑賞する。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 30人以上の団体は、研修生の人数に応じてアイロンを準備する。

活 動 名		(16) 石ころアート
活動のねらい		石ころアート作りを通して、創作の喜びを味わうとともに、創意・工夫しながら主体的に創作活動に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・50円
対象・人数		幼児以上・120人以内
場 所		研修室、創作のやかた など
準備品	研修団体	鉛筆(下書き用)
	自然の家	石ころ、アクリル絵の具、絵筆 など
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具や材料の準備、配布 (2) 手順確認 (3) 安全面 3 活動 (1) 石の形や色を見て、作品のイメージをふくらませる。 ※ 石の特徴から、デザインや色等を決めさせる。 (2) 鉛筆で下書きをする。 (3) 下書きに合わせてアクリル絵の具で色を塗る。 (4) 作品が完成したら相互評価をし、活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前にどのような絵を描くのかある程度の構想を練っておく。 ※ 団体の方で石ころを準備しておき、どのような絵を描くのか事前にイメージさせておいてもよい。 ○ 重ね塗りをする場合は、しっかり乾いてから塗るように指導する。



6 室内活動

活動名		(I) レクリエーション
活動のねらい		ゲームなどのレクリエーション活動を通して、親睦や交流を広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時間・費用		70分・無料
対象・人数		幼児以上・120人以内
場 所		体育館・第2研修室・つどいの広場
準備品	研修団体	体育館シューズ、タオル、水筒
	自然の家	レクリエーションに必要な道具
活動内容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 道具や場の準備 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 ○ アイスブレイク ○ 仲間作りゲーム など 4 後片付け 5 集合、あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 適宜水分補給を促す。 ○ 特に雨天時等は、床が滑りやすいので注意するとともに、必ず屋内履きで活動する。 ○ 自然の家職員の説明をよく聞いて、必要に応じて個別に対応できるようにする。

活 動 名		(2) 灯のつどい
活動のねらい		しょうくだい 燭台(灯)を囲んで交流する活動を通して、友情や交流を深めるとともに、これまでの自分を見つめ、他の人々に感謝しようとする心情を養う。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・ローソク代(一人 10 円)
対 象 ・ 人 数		小学生以上・120 人以内
場 所		体育館
準備品	研修団体	スタンツ(出し物), 必要なCD, 体育館シューズ
	自然の家	燭台, トーチ, ローソク, ブルーシート, ランタン, 放送機器, 灯のつどいセット(進行マニュアル, カード, ライター)
活 動 内 容		【30分前】リハーサル…自然の家職員, 進行(1), 営火長(1), 親火(1), 子火(4) 1 集合, あいさつ 2 説明 (1) 道具等の配布 (2) 活動の流れ (3) 安全面 3 活動 (1) 迎え火の式をする。 (2) 交歓のつどいをする。 (30分程度) (3) 送り火の式をする。 (4) 後片付けをする。 4 集合, あいさつ
留意事項	研修団体	○ 事前に係を決め, 台詞等の練習をしておく。また, スタンツ(出し物)を計画し, 打合せや練習等をしておく。 ○ 係が準備及びリハーサルを行えるように, 事前の活動と繋がるようにしておく。



灯のつどい 進行表

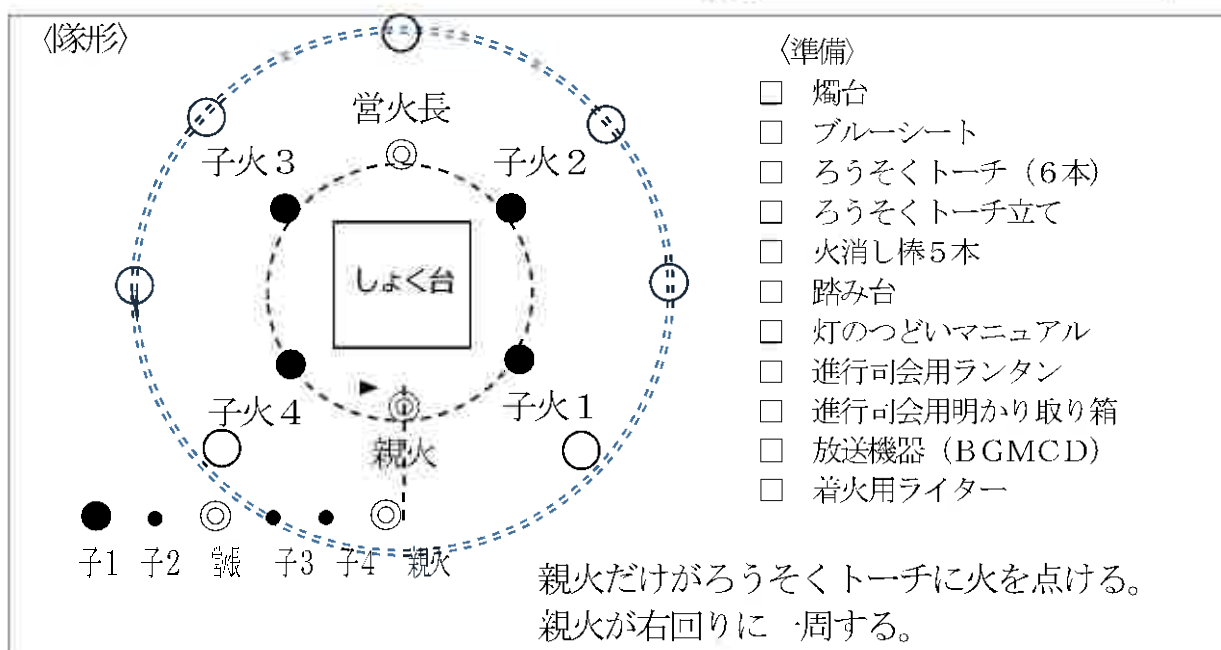
【1部 迎え火の式】

- 1 みなさん、こんばんは。自然の家での研修も（○日目の・最後の）夜を迎えました。
これまでの活動を振り返り、研修で学んだことをこれからの生活に生かせるように、そして、私たちの友情がさらに深まるように、ただいまより灯のつどいを行います。
- 2 それでは、第1部「迎え火の式」です。 〈BGM1（入場後フェードアウト）〉
- 3 営火を迎え入れます。〈親火、子火4、3、営火長、子火2、1の順で入場する。〉
- 4 親火は、営火に捧げる言葉をお願いします。
親火：営火に捧げる言葉
- 5 親火は、営火長と子火へ火を分け与えてください。
親火・営火長・子火：分火の言葉・誓いの言葉
- 6 営火長は、点火を宣言してください。
営火長が「点火」と言う。
親火・営火長・子火：点火
- 7 営火長は、迎え火の言葉をお願いします。
営火長：迎え火の言葉
- 8 みなさん、中央の炎をしばらく見つめましょう（少し間を置く。）※ 語りかけるようにゆっくり話す。
営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。

これで第1部「迎え火の式」を終わります。

営火の皆さんは退場しましょう。

親火・子火・営火長は退場する。



【2部 交歓の集い（レクリエーション）】 30分程度

【3部 送り火の式】（※全員起立する。）

1 楽しかったレクリエーションも、あっというまに終わりました。それでは、第3部「送り火の式」を始めます。〈BGM：2〉

2 親火、営火長、子火の皆さんは採火し、周りの皆さんに分けてください。

3 営火長は、送り火の言葉をお願いします。

営火長：送り火の言葉

4 みなさん、炎をじっと見つめてください。〈BGM3〉

これから皆さんが歩む人生は、楽しいことばかりではありません。つらいことや悲しいことも経験し、時にはくじけそうになることもあるでしょう。

でも、皆さんには、喜びや悲しみを分かち合える先生や友達がいます。お互いを信じ、助け合いながら、この暗闇を照らす炎のように、力を合わせて困難に立ち向かっていこうではありませんか。友達や先生がいれば、どんなに苦しいことでも、きっと乗り越えていけるはずですよ。

最後に、家族の顔を思い浮かべてください。皆さんが、こんなにも大きく成長し、何事にも自由なく毎日を過ごしていけるのは、言葉では言い尽くせないほどの家族の協力や苦勞があるおかげです。

普段は照れくさくて言えないけど、「ありがとう」と感謝の言葉を、心の中でつぶやいてみてください。

それでは、今晚、ここに集った皆さんが、限りない未来に向かって力強く羽ばたいていくことを、そして、幸多き人生を歩んでいかれることを祈りながら、第3部「送り火の式」を閉じたいと思います。

皆さん、手に持ったろうそくの火を静かに消してください。営火長、子火の皆さんは、燭台の火を消してください。親火は、燭台に残った最後の火を消してください。

皆さんありがとうございました。以上で、今夜の「灯のつどい」を終わります。

5 営火長、親火、子火の皆さん、ありがとうございました。営火長、親火、子火の皆さんは退場してください。

6 皆さん、ありがとうございました。以上で、今夜の「灯のつどい」を終わります。

灯のつどいの言葉

【親火：営火に捧げる言葉】

夜の訪れとともに、先ほどまで明るかったこの体育館も静かな闇に包まれようとしています。
 遠い昔、暗闇を照らす炎は、人々にとって心のより所であり、疲れを癒やし、体を温めてくれる希望の光でした。今夜、私たちも、灯火を囲みながら、楽しく、そして過ごそかな時間を過ごします。ここに集まった皆さんが、これからも、中央の燭台に灯される炎のように、学校や地域で輝き続けてくれることを祈りながら、営火に捧げる言葉とします。

【営火長：迎え火の言葉】

今夜、私たちは、ここ奄美少年自然の家で、聖なる火を囲みます。日々の暮らしを離れ、共に生活する中で、友情を深め、感謝の気持ちを育むことができました。この火が、かけがえのない思い出となり、いつまでも私たちの胸に灯り続けることを祈りながら、迎え火の言葉とします。

【営火長：送り火の言葉】

一つ一つは小さくても、たくさん集まるとこんなにも明るくなる炎のように、ともに笑い、ともに楽しんだ時間は、奄美少年自然の家で過ごした楽しい思い出となって、いつまでも皆さんの心に残ることと思います。
 燭台の炎は消えても、今日育んだ友情の炎は、いつまでも、私たちの心の中で消えることはないでしょう。この素晴らしい思い出をみなさんの心に刻むために、しばらくの間、じっくりと炎を見つめてください。
 最後に、私たちを励まし、見守ってくれた奄美の自然に感謝して、送り火の言葉とします。

ぶんか 分火の言葉 ※キャンプファイヤー、灯のつどい共通

親火	子火
【子火1へ】 向上のために	【子火1】 私たちは、自分の可能性を信じ、心と体をきたえ、努力を惜しまない人になります。
【子火2へ】 友情のために	【子火2】 私たちは、お互いを信じ、共に励まし合い、友情を深める人になります。
【子火3へ】 社会のために	【子火3】 私たちは、進んで学び、学校や地域、社会のために役立つ人になります。
【子火4へ】 希望のために	【子火4】 私たちは、希望と目標をもち、未来に向かって、夢の橋をかける人になります。

活 動 名		(3) ドミノ倒し
活動のねらい		仲間と協力してドミノ倒しを楽しむ活動を通して、工夫しようとする姿勢や助け合いの心、主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		幼児以上・120 人以内
場 所		体育館 など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	ドミノ
活 動 内 容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 活動の流れ (2) 安全面 3 活動 (1) ルールを決めて、ドミノを並べる。 ○ 時間 ○ 個数 ○ 長さ など (2) ドミノ倒しをする。 (3) 活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ
留意事項	研修団体	○ 団体引率者は、時間やグループ編成、順位の有無等のルールを事前に決めておく。

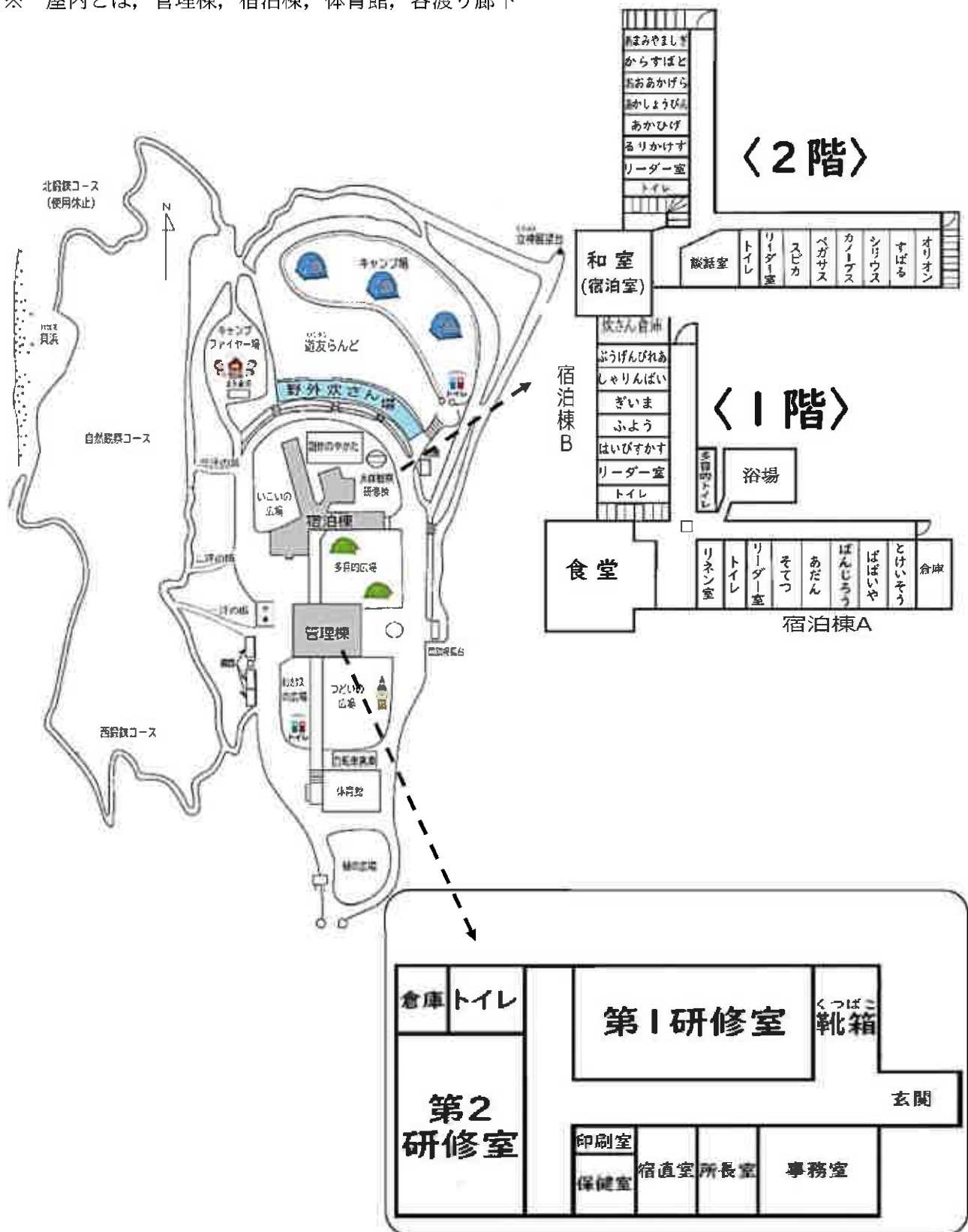


活 動 名		(4) 室内フィールドビンゴ
活動のねらい		仲間と協力して室内でのフィールドビンゴを楽しむ活動を通して、主体的に問題解決に取り組もうとする態度を育てる。
活動の主な時期		通年
時 間 ・ 費 用		70 分・無料
対 象 ・ 人 数		幼児以上・60 人以内
場 所		体育館 研修室 など
準備品	研修団体	特になし
	自然の家	ビンゴカード,所内地図, 箱
活 動 内 容		1 集合, あいさつ 2 説明 (1) ルール, 活動の流れについて説明する。 ○ カードにあるものを集める ○ 集めた数や揃った列の数で競う。 (2) 安全面 3 活動 (1) 活動場所を散策し,ビンゴカードにあるものを探す。 (2) 定めた時刻までに集合場所へ戻り, チェックを受ける。 (3) 活動の振り返りをする。 (4) 後片付けをする。 4 集合, あいさつ 
留意事項	研修団体	○ 団体引率者は, 時間やグループ編成, 順位の有無等のルールを事前に決めておく。

室内フィールドビンゴマップ

(所内(屋内)を自由に散策し、ビンゴカードにあるものを探す。)

※ 屋内とは、管理棟、宿泊棟、体育館、各渡り廊下



活 動 名		(5) クリエイティブゲーム	
活動のねらい		ゲームを通して、参加者相互の交流や親睦を深め、友達と関わり合うことの楽しさを感じる。	
活動の主な時期		通年	
時間・費用		70分～140分・無料	
対象・人数		小学生以上・50人以内	
場 所		体育館、広場等	
準備品	研修団体	帽子、水筒、タオル、必要に応じて体育館シューズ	
	自然の家	パイプライン	ハーフカットしたパイプ、ゴルフボール、ビー玉、テニスボール各1個
		ラダーゲッター	ラダーゲッター(2セット)
		空き缶タワー	空き缶、物差し(1m)、審判台、メジャー
		ドミノ倒し	ドミノセット
		ナイスキャッチ	てみ(3)、バケツ(2)、なり(3)、テニスボール(2)
活動内容		1 集合、あいさつ 2 説明 (1) 目的 (2) ルール (3) 安全面 3 活動 (1) 各アクティビティのルールを知る。 (2) 各アクティビティを体験する。 (3) 成績を聞く。 (4) 活動の振り返りをする。 (5) 後片付けをする。 4 集合、あいさつ 	
留意事項	研修団体	○ 事前に班編成を行う。(8班編制以内) ○ 引率者が各ゲームの記録をする。(チーム得点表あり)	

